

平成22年度 奨学金の延滞者に関する属性調査結果

独立行政法人日本学生支援機構

調査目的等

(目的)

奨学金の延滞者の属性を把握し、今後の奨学金回収方針に役立てることとする。

(調査対象)

1. 平成22年12月において、奨学金返還を6ヶ月以上延滞している者(以下「延滞者」という。)
2. 平成22年12月において、奨学金返還を延滞していない者(以下「無延滞者」という。)

(調査方法)

1. 調査対象の1. は、請求書に調査票を同封(74,655件)の他、上述の時期に請求書送付の対象となっていなかった者から無作為に抽出して調査票を発送(14,900件)
2. 調査対象の2. は、無作為に抽出し、調査票を送付

(調査時期)

平成22年12月

(調査数)

	発送件数	回答件数	回答率
延滞者	89,555	3,956	4.4%
無延滞者	9,721	2,669	27.5%

調査結果

1. 主な返還者について

- (1) 主な返還者 表 1-1
- (2) 主な返還者と回答者との関係 表 1-2-1~2
- (3) 主な返還者と学種との関係 表 1-3-1~2

2. 本人の職業について

- (1) 本人の職業 表 2-1-1~4
- (2) 本人の職業と学種との関係 表 2-2-1~2

3. 本人の年収について

- (1) 本人の年収 表 3-1-1~6
- (2) 本人の年収と学種との関係 表 3-2

4. 延滞の理由と今後の返還の見通しについて(調査対象:延滞者のみ)

- (1) 延滞が始まった理由(きっかけ) 表 4-1-1~2
- (2) 延滞が継続している理由 表 4-2-1~3
- (3) 延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由の関係 表 4-3
- (4) 延滞が継続している理由と主な返還者との関係 表 4-4
- (5) 延滞が継続している理由と年収との関係 表 4-5
- (6) 延滞が継続している理由と職業との関係 表 4-6
- (7) 今後の返還の見通し 表 4-7-1~2

5. 返還期限の猶予制度について	
(1) 猶予制度の認知状況	表 5-1
(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係	表 5-2-1～2
(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係	表 5-3-1～2
(4) 猶予制度の申請状況	表 5-4
(5) 猶予制度の利用状況	表 5-5
6. 無延滞者のこれまでの返還状況(調査対象:無延滞者のみ)	
(1) 延滞経験の有無	表 6-1
(2) 延滞になったことを知ったきっかけ	表 6-2
(3) 延滞の解消方法	表 6-3
7. 無延滞者の意識調査(調査対象:無延滞者のみ)	
(1) 「減額返還制度」の利用希望について	表 7-1
(2) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識	表 7-2-1～2

(注意)

1. 表は無回答を除いた比率で集計している。
2. 四捨五入をした数を使用しているため、内訳の数の合計が合計欄の数と一致しない場合がある。
3. 「4. 延滞の理由と今後の返還の見通しについて」と「6. 無延滞者のこれまでの返還状況」は複数回答のため、率の合計は100%にならない。

(参考)

平成22年度末現在の状況

・返還を要する者の債権(期日到来分のみ。)	2,820千人
・返還している者	2,479千人
・1日以上延滞債権	341千人
・6ヶ月以上の延滞債権	181千人

○基礎情報

1. 回答者 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,443	62.1	2,095	78.6
連帯保証人	735	18.7	275	10.3
保証人	253	6.4	105	3.9
連帯保証人・保証人以外の父母	426	10.8	159	6.0
配偶者	62	1.6	32	1.2
その他	13	0.3	0	0.0
計	3,932	100.0	2,666	100.0
無回答	24		3	

2. 奨学生本人の性別 (単位:人・%)

性別	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
男性	2,042	51.7	1,328	49.8
女性	1,904	48.3	1,341	50.2
計	3,946	100.0	2,669	100.0
無回答	10		0	

3. 奨学生本人の年齢 (単位:人・%)

年齢(歳)	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
～24	555	14.2	901	33.8
25～29	1,561	39.8	986	37.0
30～34	943	24.0	163	6.1
35～39	432	11.0	462	17.3
40～44	271	6.9	106	4.0
45～49	103	2.6	26	1.0
50～	57	1.5	24	0.9
計	3,922	100.0	2,668	100.0
無回答	34		1	

4. 奨学生本人の居住地域 (単位:人・%)

地域	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
北海道	173	4.4	111	4.2
東北	298	7.6	153	5.7
関東(東京除く)	561	14.4	570	21.4
東京	397	10.2	352	13.2
甲信越(山梨、長野、新潟)	93	2.4	79	3.0
東海(静岡、愛知、三重、岐阜)	280	7.2	249	9.3
北陸	42	1.1	48	1.8
近畿	716	18.3	473	17.7
中国	222	5.7	167	6.3
四国	101	2.6	94	3.5
九州・沖縄	976	25.0	345	12.9
海外	47	1.2	27	1.0
計	3,906	100.0	2,668	100.0
無回答	50		1	

5. 奨学金の種類 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
第一種	1,457	41.4	1,220	46.1
第二種	1,757	49.9	1,098	41.5
両方	307	8.7	329	12.4
計	3,521	100.0	2,647	100.0
無回答	435		22	

6. 最終貸与学種 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
高等学校	1,135	28.9	82	3.1
高等専門学校	132	3.4	51	1.9
短期大学	346	8.8	209	7.8
大学	1,647	42.0	1,515	56.9
大学院	196	5.0	488	18.3
専修学校(専門課程)	470	12.0	318	11.9
計	3,926	100.0	2,663	100.0
無回答	30		6	

1. 主な返還者について

(1) 主な返還者(回答者数:延滞者3,832人、無延滞者2,663人)(択一)

- 主な返還者は、延滞者の場合で「本人」62.9%、「連帯保証人」18.4%、無延滞者の場合で「本人」83.6%、「連帯保証人」8.2%である。延滞者、無延滞者ともに本人が主な返還者である割合が最も高いが、延滞者では無延滞者に比べて約20%低くなっている。

表1-1 主な返還者

(単位:人・%)

区分	延滞者				無延滞者			
	22年度		(参考)21年度		22年度		(参考)21年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
奨学生本人	2,409	62.9	2,008	57.3	2,227	83.6	7,834	85.7
連帯保証人	704	18.4	797	22.8	218	8.2	650	7.1
保証人	230	6.0	233	6.7	92	3.5	204	2.2
連帯保証人・保証人以外の父母	320	8.4	362	10.3	75	2.8	276	3.0
配偶者	70	1.8	56	1.6	48	1.8	163	1.8
その他	99	2.6	46	1.3	3	0.1	15	0.2
計	3,832	100.0	3,502	100.0	2,663	100.0	9,142	100.0

(2) 主な返還者と回答者との関係

- 延滞者の場合、回答者(このアンケート調査に回答した者)が主な返還者であることが多い(回答者が配偶者である場合を除く)のに対し、無延滞者の場合、回答者にかかわらず本人が主な返還者であることが多い(回答者が保証人である場合を除く)。

表1-2-1 主な返還者と回答者(延滞者)

(単位:人・%)

		主な返還者													
		奨学生本人		連帯保証人		保証人		連帯保証人・保証人以外の父母		配偶者		その他		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答者	奨学生本人	2,115	88.5	115	4.8	36	1.5	19	0.8	45	1.9	60	2.5	2,390	100.0
	連帯保証人	127	18.0	542	76.7	12	1.7	14	2.0	1	0.1	11	1.6	707	100.0
	保証人	41	16.8	16	6.6	173	70.9	6	2.5	3	1.2	5	2.0	244	100.0
	連帯保証人・保証人以外の父母	88	21.8	23	5.7	7	1.7	276	68.3	1	0.2	9	2.2	404	100.0
	配偶者	33	54.1	3	4.9	0	0.0	2	3.3	20	32.8	3	4.9	61	100.0
	その他	1	7.7	1	7.7	0	0.0	0	0.0	0	0.0	11	84.6	13	100.0
計		2,405	63.0	700	18.3	228	6.0	317	8.3	70	1.8	99	2.6	3,819	100.0

表1-2-2 主な返還者と回答者(無延滞者)

(単位:人・%)

		主な返還者													
		奨学生本人		連帯保証人		保証人		連帯保証人・保証人以外の父母		配偶者		その他		計	
		人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
回答者	奨学生本人	1,936	92.6	65	3.1	27	1.3	18	0.9	43	2.1	2	0.1	2,091	100.0
	連帯保証人	136	49.5	134	48.7	2	0.7	1	0.4	1	0.4	1	0.4	275	100.0
	保証人	44	41.9	4	3.8	57	54.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	105	100.0
	連帯保証人・保証人以外の父母	82	51.9	15	9.5	6	3.8	55	34.8	0	0.0	0	0.0	158	100.0
	配偶者	27	84.4	0	0.0	0	0.0	1	3.1	4	12.5	0	0.0	32	100.0
	その他	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-	0	-
計		2,225	83.6	218	8.2	92	3.5	75	2.8	48	1.8	3	0.1	2,661	100.0

(3) 主な返還者と学種との関係

- いずれの学種においても、延滞者は無延滞者と比べ、主な返還者が本人以外の割合が高くなっている。また、高校は本人が返還する割合と本人以外が返還する割合がほぼ同じ割合であるが、大学院は本人が返還している割合が高い。

表1-3-1 主な返還者と学種(延滞者)

(単位:人・%)

	主な返還者													
	奨学生本人		連帯保証人		保証人		連帯保証人・保証人以外の父母		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高等学校	571	53.5	230	21.5	94	8.8	126	11.8	18	1.7	29	2.7	1,068	100.0
高等専門学校	68	53.5	31	24.4	8	6.3	15	11.8	4	3.1	1	0.8	127	100.0
短期大学	205	61.0	74	22.0	18	5.4	23	6.8	8	2.4	8	2.4	336	100.0
大学	1,086	67.7	267	16.6	76	4.7	108	6.7	27	1.7	41	2.6	1,605	100.0
大学院	147	77.8	21	11.1	6	3.2	3	1.6	5	2.6	7	3.7	189	100.0
専修学校(専門課程)	309	66.9	71	15.4	25	5.4	39	8.4	6	1.3	12	2.6	462	100.0
計	2,386	63.0	694	18.3	227	6.0	314	8.3	68	1.8	98	2.6	3,787	100.0

表1-3-2 主な返還者と学種(無延滞者)

(単位:人・%)

	主な返還者													
	奨学生本人		連帯保証人		保証人		連帯保証人・保証人以外の父母		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
高等学校	48	58.5	22	26.8	7	8.5	4	4.9	0	0.0	1	1.2	82	100.0
高等専門学校	40	81.6	2	4.1	2	4.1	4	8.2	1	2.0	0	0.0	49	100.0
短期大学	180	86.5	15	7.2	6	2.9	5	2.4	2	1.0	0	0.0	208	100.0
大学	1,230	81.3	138	9.1	62	4.1	48	3.2	32	2.1	2	0.1	1,512	100.0
大学院	451	92.4	20	4.1	5	1.0	5	1.0	7	1.4	0	0.0	488	100.0
専修学校(専門課程)	272	85.5	21	6.6	10	3.1	9	2.8	6	1.9	0	0.0	318	100.0
計	2,221	83.6	218	8.2	92	3.5	75	2.8	48	1.8	3	0.1	2,657	100.0

2. 本人の職業について

(1) 本人の職業(回答者数:延滞者3,909人、無延滞者2,669人)(択一)

- 延滞者の場合、「正社員・正職員」が最も多く27.4%、次いで「アルバイト・パート等」25.1%、「失業中・無職」16.7%となっている。無延滞者の場合、「正社員・正職員」が68.0%と最も多く、次いで「アルバイト・パート等」の9.1%となっている。延滞者は、無延滞者と比較して「正社員・正職員」となっている者の割合が低く、「アルバイト・パート等」や「派遣・臨時職員」、「失業中・無職」の割合が高くなっている。

表2-1-1 本人の職業

(単位:人・%)

区分	延滞者				無延滞者			
	22年度		(参考)21年度		22年度		(参考)21年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	1,073	27.4	1,009	28.5	1,814	68.0	6,379	69.7
派遣・臨時職員	521	13.3	499	14.1	235	8.8	771	8.4
アルバイト・パート等	980	25.1	805	22.8	242	9.1	671	7.3
自営業・経営者	148	3.8	180	5.1	64	2.4	312	3.4
休職中(病気療養中を含む)	173	4.4	131	3.7	27	1.0	88	1.0
失業中・無職	653	16.7	550	15.5	102	3.8	289	3.2
専業主婦(夫)	240	6.1	218	6.2	110	4.1	495	5.4
在学中(留学を含む)	48	1.2	19	0.5	51	1.9	73	0.8
その他	73	1.9	127	3.6	24	0.9	74	0.8
計	3,909	100.0	3,538	100.0	2,669	100.0	9,152	100.0

表2-1-2 本人の職業(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	747	37.0	326	17.3	1,073	27.5	1,034	77.9	780	58.2	1,814	68.0
派遣・臨時職員	248	12.3	273	14.5	521	13.3	64	4.8	171	12.8	235	8.8
アルバイト・パート等	397	19.7	581	30.8	978	25.0	85	6.4	157	11.7	242	9.1
自営業・経営者	114	5.6	34	1.8	148	3.8	42	3.2	22	1.6	64	2.4
休職中(病気療養中を含む)	82	4.1	91	4.8	173	4.4	9	0.7	18	1.3	27	1.0
失業中・無職	357	17.7	295	15.6	652	16.7	51	3.8	51	3.8	102	3.8
専業主婦(夫)	2	0.1	238	12.6	240	6.1	2	0.2	108	8.1	110	4.1
在学中(留学を含む)	29	1.4	19	1.0	48	1.2	26	2.0	25	1.9	51	1.9
その他	44	2.2	29	1.5	73	1.9	15	1.1	9	0.7	24	0.9
計	2,020	100.0	1,886	100.0	3,906	100.0	1,328	100.0	1,341	100.0	2,669	100.0

表2-1-3 本人の職業と年齢(延滞者)

(単位:人・%)

職業	年齢		～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	108	19.6	462	29.9	277	29.6	124	29.0	66	24.7	33	21.4	1,070	27.5		
派遣・臨時職員	55	10.0	216	14.0	148	15.8	57	13.3	28	10.5	15	9.7	519	13.4		
アルバイト・パート等	204	37.0	420	27.1	187	20.0	83	19.4	52	19.5	30	19.5	976	25.1		
自営業・経営者	4	0.7	41	2.7	34	3.6	22	5.2	25	9.4	20	13.0	146	3.8		
休職中(病気療養中を含む)	15	2.7	60	3.9	49	5.2	21	4.9	18	6.7	8	5.2	171	4.4		
失業中・無職	116	21.0	232	15.0	132	14.1	79	18.5	50	18.7	40	26.0	649	16.7		
専業主婦(夫)	29	5.3	76	4.9	81	8.6	28	6.6	16	6.0	4	2.6	234	6.0		
在学中(留学を含む)	15	2.7	19	1.2	10	1.1	1	0.2	3	1.1	0	0.0	48	1.2		
その他	6	1.1	21	1.4	19	2.0	12	2.8	9	3.4	4	2.6	71	1.8		
計	552	100.0	1,547	100.0	937	100.0	427	100.0	267	100.0	154	100.0	3,884	100.0		

表2-1-4 本人の職業と年齢(無延滞者)

(単位:人・%)

職業	年齢		～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	576	63.9	706	71.6	118	72.4	321	69.5	65	61.3	28	56.0	1,814	68.0		
派遣・臨時職員	80	8.9	93	9.4	10	6.1	32	6.9	9	8.5	11	22.0	235	8.8		
アルバイト・パート等	133	14.8	67	6.8	4	2.5	28	6.1	8	7.5	2	4.0	242	9.1		
自営業・経営者	7	0.8	7	0.7	7	4.3	26	5.6	11	10.4	5	10.0	63	2.4		
休職中(病気療養中を含む)	4	0.4	14	1.4	3	1.8	4	0.9	1	0.9	1	2.0	27	1.0		
失業中・無職	44	4.9	37	3.8	4	2.5	9	1.9	7	6.6	1	2.0	102	3.8		
専業主婦(夫)	12	1.3	44	4.5	10	6.1	38	8.2	4	3.8	2	4.0	110	4.1		
在学中(留学を含む)	34	3.8	12	1.2	3	1.8	1	0.2	1	0.9	0	0.0	51	1.9		
その他	11	1.2	6	0.6	4	2.5	3	0.6	0	0.0	0	0.0	24	0.9		
計	901	100.0	986	100.0	163	100.0	462	100.0	106	100.0	50	100.0	2,668	100.0		

(2) 本人の職業と学種との関係

- 延滞者は、大学院を除きいずれの学種においても「派遣・臨時職員」と「アルバイト・パート等」の割合の合計が、「正社員・正職員」の割合より高くなっている。
- 無延滞者はいずれの学種においても「正社員・正職員」が最も多いが、短期大学が54.5%と、他の学種と比較して低くなっている。

表2-2-1 本人の職業と学種(延滞者)

(単位:人・%)

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 (専門課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	238	21.7	39	31.0	72	20.9	522	32.0	66	34.0	122	26.1	1,059	27.4
派遣・臨時職員	114	10.4	13	10.3	59	17.2	231	14.2	31	16.0	67	14.3	515	13.3
アルバイト・パート等	329	30.0	36	28.6	93	27.0	349	21.4	26	13.4	133	28.5	966	25.0
自営業・経営者	30	2.7	2	1.6	4	1.2	85	5.2	15	7.7	12	2.6	148	3.8
休職中(病気療養中を含む)	47	4.3	9	7.1	15	4.4	63	3.9	10	5.2	22	4.7	166	4.3
失業中・無職	194	17.7	16	12.7	55	16.0	275	16.9	29	14.9	81	17.3	650	16.8
専業主婦(夫)	95	8.7	10	7.9	37	10.8	68	4.2	6	3.1	20	4.3	236	6.1
在学中(留学を含む)	16	1.5	1	0.8	1	0.3	18	1.1	5	2.6	5	1.1	46	1.2
その他	32	2.9	0	0.0	8	2.3	21	1.3	6	3.1	5	1.1	72	1.9
計	1,095	100.0	126	100.0	344	100.0	1,632	100.0	194	100.0	467	100.0	3,858	100.0

表2-2-2 本人の職業と学種(無延滞者)

(単位:人・%)

職業 \ 学種	高等学校		高等専門学校		短期大学		大学		大学院		専修学校 (専門課程)		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
正社員・正職員	55	67.1	35	68.6	114	54.5	1,037	68.4	371	76.0	198	62.3	1,810	68.0
派遣・臨時職員	3	3.7	2	3.9	40	19.1	130	8.6	37	7.6	23	7.2	235	8.8
アルバイト・パート等	15	18.3	8	15.7	27	12.9	127	8.4	19	3.9	44	13.8	240	9.0
自営業・経営者	1	1.2	1	2.0	1	0.5	34	2.2	17	3.5	10	3.1	64	2.4
休職中(病気療養中を含む)	1	1.2	0	0.0	1	0.5	15	1.0	5	1.0	5	1.6	27	1.0
失業中・無職	1	1.2	3	5.9	8	3.8	59	3.9	13	2.7	18	5.7	102	3.8
専業主婦(夫)	3	3.7	1	2.0	15	7.2	66	4.4	12	2.5	13	4.1	110	4.1
在学中(留学を含む)	3	3.7	0	0.0	2	1.0	34	2.2	7	1.4	5	1.6	51	1.9
その他	0	0.0	1	2.0	1	0.5	13	0.9	7	1.4	2	0.6	24	0.9
計	82	100.0	51	100.0	209	100.0	1,515	100.0	488	100.0	318	100.0	2,663	100.0

3. 本人の年収について

(1) 本人の年収(回答者数:延滞者3,852人、無延滞者2,656人)(択一)

○ 延滞者の場合、「100～200万円未満」が最も多く26.5%、次いで「1円～100万円未満」24.9%、「0円」20.0%で、この3つの区分(0円～200万円未満)で71.3%となっている。

無延滞者の場合、「200万円～300万円未満」が最も多く26.0%、次いで「400万円以上」21.8%、「300万円～400万円未満」19.2%となっている。この3つの区分(200万円～)で67.0%となっている。

表3-1-1 本人の年収

(単位:人・%)

区分	延滞者				無延滞者			
	22年度		(参考)21年度		22年度		(参考)21年度	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	770	20.0	1,373	40.7	181	6.8	1,262	13.9
1円～100万円未満	958	24.9			231	8.7		
100～200万円未満	1,019	26.5	940	27.9	464	17.5	1,147	12.6
200～300万円未満	689	17.9	637	18.9	690	26.0	1,960	21.6
300～400万円未満	280	7.3	245	7.3	510	19.2	1,606	17.7
400万円以上	136	3.5	176	5.2	580	21.8	3,105	34.2
計	3,852	100.0	3,371	100.0	2,656	100.0	9,080	100.0

(注)21年度は年収0円の選択肢がないため、21年度と22年度の比較については100万円未満として比較した。

表3-1-2 本人の年収(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者					
	男		女		計		男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	293	14.8	476	25.5	769	20.0	46	3.5	135	10.1	181	6.8
1円～100万円未満	399	20.1	558	29.9	957	24.9	84	6.4	147	11.0	231	8.7
100～200万円未満	515	26.0	503	27.0	1,018	26.5	132	10.0	332	24.8	464	17.5
200～300万円未満	447	22.6	241	12.9	688	17.9	306	23.2	384	28.7	690	26.0
300～400万円未満	216	10.9	64	3.4	280	7.3	295	22.4	215	16.1	510	19.2
400万円以上	112	5.7	24	1.3	136	3.5	455	34.5	125	9.3	580	21.8
計	1,982	100.0	1,866	100.0	3,848	100.0	1,318	100.0	1,338	100.0	2,656	100.0

表3-1-3 本人の年収と職業(延滞者)

(単位:人・%)

年収	正社員・正職員		派遣・臨時職員		アルバイト・パート等		自営業・経営者		休職中(病気療養中を含む)		失業中・無職		専業主婦(夫)		在学中(留学を含む)		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	3	0.4	5	0.7	14	1.8	10	1.3	90	11.8	378	49.5	210	27.5	24	3.1	29	3.8	763	100.0
1円～100万円未満	28	2.9	94	9.8	491	51.4	49	5.1	41	4.3	203	21.2	22	2.3	16	1.7	12	1.3	956	100.0
100～200万円未満	249	24.6	253	25.0	389	38.4	40	3.9	20	2.0	44	4.3	4	0.4	6	0.6	8	0.8	1,013	100.0
200～300万円未満	433	63.1	133	19.4	67	9.8	28	4.1	9	1.3	13	1.9	1	0.1	1	0.1	1	0.1	686	100.0
300～400万円未満	228	82.0	28	10.1	4	1.4	10	3.6	5	1.8	1	0.4	0	0.0	1	0.4	1	0.4	278	100.0
400万円以上	116	85.9	2	1.5	3	2.2	8	5.9	3	2.2	1	0.7	0	0.0	0	0.0	2	1.5	135	100.0
計	1,057	27.6	515	13.4	968	25.3	145	3.8	168	4.4	640	16.7	237	6.2	48	1.3	53	1.4	3,831	100.0

表3-1-4 本人の年収と職業(無延滞者)

(単位:人・%)

職業	正社員・ 正職員		派遣・ 臨時職員		アルバイト・ パート等		自営業・ 経営者		休職中 (病氣療養中を 含む)		失業中・無職		専業主婦(夫)		在学中 (留学を含む)		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	1	0.6	0	0.0	0	0.0	1	0.6	8	4.4	50	27.6	89	49.2	28	15.5	4	2.2	181	100.0
1円～100万円未満	12	5.2	31	13.4	106	45.9	5	2.2	5	2.2	33	14.3	20	8.7	15	6.5	4	1.7	231	100.0
100～200万円未満	199	42.9	112	24.1	112	24.1	13	2.8	5	1.1	11	2.4	1	0.2	5	1.1	6	1.3	464	100.0
200～300万円未満	583	84.5	67	9.7	19	2.8	9	1.3	4	0.6	4	0.6	0	0.0	1	0.1	3	0.4	690	100.0
300～400万円未満	468	91.8	19	3.7	3	0.6	8	1.6	2	0.4	4	0.8	0	0.0	1	0.2	5	1.0	510	100.0
400万円以上	541	93.3	6	1.0	2	0.3	26	4.5	3	0.5	0	0.0	0	0.0	1	0.2	1	0.2	580	100.0
計	1,804	67.9	235	8.8	242	9.1	62	2.3	27	1.0	102	3.8	110	4.1	51	1.9	23	0.9	2,656	100.0

表3-1-5 本人の年収と年齢(延滞者)

(単位:人・%)

年収	～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	123	22.5	273	17.7	186	20.3	91	21.8	53	20.7	29	19.2	755	19.7
1円～100万円未満	181	33.2	396	25.7	190	20.7	76	18.2	66	25.8	43	28.5	952	24.9
100～200万円未満	164	30.0	442	28.7	220	24.0	105	25.2	58	22.7	27	17.9	1,016	26.6
200～300万円未満	67	12.3	309	20.1	196	21.4	65	15.6	25	9.8	25	16.6	687	18.0
300～400万円未満	10	1.8	104	6.8	79	8.6	43	10.3	30	11.7	14	9.3	280	7.3
400万円以上	1	0.2	15	1.0	46	5.0	37	8.9	24	9.4	13	8.6	136	3.6
計	546	100.0	1,539	100.0	917	100.0	417	100.0	256	100.0	151	100.0	3,826	100.0

表3-1-5 本人の年収と年齢(無延滞者)

(単位:人・%)

年収	～24		25～29		30～34		35～39		40～44		45～		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	56	6.2	61	6.2	14	8.6	39	8.5	9	8.7	2	4.0	181	6.8
1円～100万円未満	121	13.4	67	6.8	8	4.9	23	5.0	8	7.7	4	8.0	231	8.7
100～200万円未満	255	28.3	154	15.7	9	5.5	38	8.3	7	6.7	1	2.0	464	17.5
200～300万円未満	328	36.4	282	28.7	24	14.7	38	8.3	7	6.7	11	22.0	690	26.0
300～400万円未満	123	13.7	276	28.1	33	20.2	66	14.4	10	9.6	2	4.0	510	19.2
400万円以上	17	1.9	142	14.5	75	46.0	253	55.4	63	60.6	30	60.0	580	21.8
計	900	100.0	982	100.0	163	100.0	457	100.0	104	100.0	50	100.0	2,656	100.0

(2) 本人の年収と学種との関係

○ 延滞者の場合、高校、短期大学および専修専門で年収が低くなっている。

○ 無延滞者であっても、100万円未満の者が各学種で約10～20%程度存在している。

表3-2 本人の年収と学種

(単位:人・%)

区分	延滞者						無延滞者						
	男		女		計		男		女		計		
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	
高等学校	0円	84	17.9	181	29.8	265	24.7	3	10.0	5	9.8	8	9.9
	1円～100万円未満	99	21.2	225	37.1	324	30.1	2	6.7	8	15.7	10	12.3
	100～200万円未満	139	29.7	139	22.9	278	25.9	6	20.0	15	29.4	21	25.9
	200～300万円未満	108	23.1	55	9.1	163	15.2	8	26.7	17	33.3	25	30.9
	300～400万円未満	33	7.1	5	0.8	38	3.5	4	13.3	3	5.9	7	8.6
	400万円以上	5	1.1	2	0.3	7	0.7	7	23.3	3	5.9	10	12.3
	計	468	100.0	607	100.0	1,075	100.0	30	100.0	51	100.0	81	100.0
高等専門学校	0円	10	16.9	16	23.5	26	20.5	0	0.0	3	11.5	3	5.9
	1円～100万円未満	8	13.6	16	23.5	24	18.9	2	8.0	4	15.4	6	11.8
	100～200万円未満	17	28.8	21	30.9	38	29.9	5	20.0	8	30.8	13	25.5
	200～300万円未満	15	25.4	11	16.2	26	20.5	10	40.0	8	30.8	18	35.3
	300～400万円未満	8	13.6	4	5.9	12	9.4	5	20.0	3	11.5	8	15.7
	400万円以上	1	1.7	0	0.0	1	0.8	3	12.0	0	0.0	3	5.9
	計	59	100.0	68	100.0	127	100.0	25	100.0	26	100.0	51	100.0
短期大学	0円	8	19.5	71	23.7	79	23.2	0	0.0	13	6.8	13	6.2
	1円～100万円未満	11	26.8	100	33.4	111	32.6	2	11.8	27	14.1	29	13.9
	100～200万円未満	11	26.8	87	29.1	98	28.8	6	35.3	78	40.6	84	40.2
	200～300万円未満	8	19.5	39	13.0	47	13.8	5	29.4	52	27.1	57	27.3
	300～400万円未満	3	7.3	1	0.3	4	1.2	1	5.9	17	8.9	18	8.6
	400万円以上	0	0.0	1	0.3	1	0.3	3	17.6	5	2.6	8	3.8
	計	41	100.0	299	100.0	340	100.0	17	100.0	192	100.0	209	100.0
大学	0円	143	13.7	129	23.1	272	17.0	34	4.3	81	11.3	115	7.6
	1円～100万円未満	205	19.7	136	24.4	341	21.3	52	6.6	75	10.5	127	8.4
	100～200万円未満	246	23.6	152	27.2	398	24.9	81	10.2	140	19.6	221	14.7
	200～300万円未満	238	22.8	90	16.1	328	20.5	179	22.6	214	29.9	393	26.1
	300～400万円未満	134	12.9	38	6.8	172	10.8	185	23.4	134	18.7	319	21.2
	400万円以上	76	7.3	13	2.3	89	5.6	261	33.0	72	10.1	333	22.1
	計	1,042	100.0	558	100.0	1,600	100.0	792	100.0	716	100.0	1,508	100.0
大学院	0円	16	12.1	14	23.3	30	15.6	6	1.8	15	10.1	21	4.3
	1円～100万円未満	18	13.6	16	26.7	34	17.7	10	3.0	8	5.4	18	3.7
	100～200万円未満	26	19.7	13	21.7	39	20.3	11	3.3	21	14.2	32	6.6
	200～300万円未満	22	16.7	6	10.0	28	14.6	55	16.4	31	20.9	86	17.8
	300～400万円未満	23	17.4	8	13.3	31	16.1	79	23.6	33	22.3	112	23.2
	400万円以上	27	20.5	3	5.0	30	15.6	174	51.9	40	27.0	214	44.3
	計	132	100.0	60	100.0	192	100.0	335	100.0	148	100.0	483	100.0
専修学校 (専門課程)	0円	31	14.4	56	22.3	87	18.7	3	2.5	18	9.0	21	6.6
	1円～100万円未満	50	23.3	58	23.1	108	23.2	16	13.6	25	12.5	41	12.9
	100～200万円未満	68	31.6	85	33.9	153	32.8	23	19.5	67	33.5	90	28.3
	200～300万円未満	50	23.3	40	15.9	90	19.3	48	40.7	60	30.0	108	34.0
	300～400万円未満	15	7.0	7	2.8	22	4.7	21	17.8	25	12.5	46	14.5
	400万円以上	1	0.5	5	2.0	6	1.3	7	5.9	5	2.5	12	3.8
	計	215	100.0	251	100.0	466	100.0	118	100.0	200	100.0	318	100.0
計	0円	292	14.9	467	25.3	759	20.0	46	3.5	135	10.1	181	6.8
	1円～100万円未満	391	20.0	551	29.9	942	24.8	84	6.4	147	11.0	231	8.7
	100～200万円未満	507	25.9	497	27.0	1,004	26.4	132	10.0	329	24.7	461	17.4
	200～300万円未満	441	22.5	241	13.1	682	17.9	305	23.2	382	28.7	687	25.9
	300～400万円未満	216	11.0	63	3.4	279	7.3	295	22.4	215	16.1	510	19.2
	400万円以上	110	5.6	24	1.3	134	3.5	455	34.5	125	9.4	580	21.9
	計	1,957	100.0	1,843	100.0	3,800	100.0	1,317	100.0	1,333	100.0	2,650	100.0

4. 延滞の理由と今後の返還の見通しについて(延滞者のみに質問)

(1) 延滞が始まった理由(きっかけ)(回答者数:3,909人)(択一)

- 延滞が始まった理由(きっかけ)は「家計の収入が減った」が最も多く61.1%、次いで「家計の支出が増えた」15.1%で、この2つの区分で75%を超えている。「入院、事故、災害等」も家計の収入減や支出増に関係するものと思われ、これを合わせると8割を超えている。

表4-1-1 延滞が始まった理由(きっかけ)

(単位:人・%)

区分	延滞者	
	人数	割合
忙しかった	99	2.5
返還を忘れていた	140	3.6
家計の収入が減った	2,389	61.1
家計の支出が増えた	591	15.1
入院、事故、災害等	253	6.5
返還するものだと思わなかった	22	0.6
その他	415	10.6
計	3,909	100.0

表4-1-2 延滞が始まった理由(きっかけ)(男女別)

(単位:人・%)

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
忙しかった	49	2.4	50	2.7	99	2.5
返還を忘れていた	64	3.2	76	4.0	140	3.6
家計の収入が減った	1,225	60.7	1,161	61.6	2,386	61.1
家計の支出が増えた	304	15.1	287	15.2	591	15.1
入院、事故、災害等	141	7.0	111	5.9	252	6.5
返還するものだと思わなかった	8	0.4	14	0.7	22	0.6
その他	228	11.3	186	9.9	414	10.6
計	2,019	100.0	1,885	100.0	3,904	100.0

(2) 延滞が継続している理由(複数選択(2つまで))(回答者数:3,917人)

- 延滞が継続している主な理由は、「本人の低所得」が最も多く47.8%、次いで「親の経済困難」37.8%、「奨学金の延滞金額の増加」27.8%となっている。

表4-2-1 延滞が継続している理由 (単位:人・%)

区分	延滞者			
	22年度		(参考)21年度	
	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	262	6.7	308	8.6
本人が学生(留学を含む)	56	1.4	42	1.2
本人が失業中(無職)	839	21.4	724	20.3
本人の低所得	1,871	47.8	1,753	49.1
本人の借入金の返済	762	19.5	693	19.4
奨学金の延滞金額の増加	1,087	27.8	787	22.1
親の経済困難	1,479	37.8	1,216	34.1
配偶者の経済困難	201	5.1	200	5.6
家族の病気療養	287	7.3	262	7.3
忙しくて忘れていた	84	2.1	58	1.6
その他	259	6.6	176	4.9
回答者数	3,917	—	3,569	—

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

表4-2-2 延滞が継続している理由(男女別) (単位:人・%)

区分	延滞者					
	男		女		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	128	6.3	134	7.1	262	6.7
本人が学生(留学を含む)	32	1.6	24	1.3	56	1.4
本人が失業中(無職)	402	19.9	436	23.1	838	21.4
本人の低所得	1,007	49.8	862	45.6	1,869	47.8
本人の借入金の返済	448	22.1	311	16.5	759	19.4
奨学金の延滞金額の増加	540	26.7	546	28.9	1,086	27.8
親の経済困難	807	39.9	671	35.5	1,478	37.8
配偶者の経済困難	33	1.6	168	8.9	201	5.1
家族の病気療養	143	7.1	144	7.6	287	7.3
忙しくて忘れていた	42	2.1	42	2.2	84	2.1
その他	118	5.8	141	7.5	259	6.6
回答者数	2,023	—	1,889	—	3,912	—

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。
2. 回答者数に対する割合である。

表4-2-3 延滞が継続している理由を「本人の低所得」と回答した者の年収

(単位:%)

区分	延滞理由「本人の低所得」回答者の年収	(参考) 年収(延滞者)
0円	4.4	20.0
1円~100万円未満	33.5	24.9
100~200万円未満	37.4	26.5
200~300万円未満	18.9	17.9
300~400万円未満	4.4	7.3
400万円以上	1.5	3.5
計	100.0	100.0

(3) 延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由の関係

- 延滞が始まった理由により、継続の理由にも多少バラつきがあるが、「本人の低所得」と「奨学金の延滞金額の増加」を延滞継続の理由とする割合が高くなっている。

表4-3 延滞が始まった理由(きっかけ)と継続している理由

(単位:人・%)

継続の理由	始まった理由		忙しかった		返還を忘れていた		収入が減った		支出が増えた		入院、事故、災害等		返還するものだと思わなかった		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	6	6.2	3	2.2	97	4.1	16	2.7	96	38.1	2	9.1	39	9.5	259	6.7		
本人が学生(留学を含む)	2	2.1	3	2.2	26	1.1	6	1.0	2	0.8	0	0.0	16	3.9	55	1.4		
本人が失業中(無職)	11	11.3	18	13.2	551	23.1	64	10.8	79	31.3	3	13.6	106	25.9	832	21.4		
本人の低所得	38	39.2	50	36.8	1,329	55.8	234	39.7	58	23.0	7	31.8	147	35.9	1,863	47.9		
本人の借入金の返済	13	13.4	30	22.1	411	17.3	236	40.0	25	9.9	3	13.6	40	9.8	758	19.5		
奨学金の延滞金額の増加	36	37.1	72	52.9	645	27.1	183	31.0	41	16.3	9	40.9	95	23.2	1,081	27.8		
親の経済困難	17	17.5	28	20.6	986	41.4	219	37.1	83	32.9	6	27.3	135	32.9	1,474	37.9		
配偶者の経済困難	2	2.1	0	0.0	132	5.5	39	6.6	12	4.8	0	0.0	14	3.4	199	5.1		
家族の病気療養	5	5.2	7	5.1	129	5.4	56	9.5	57	22.6	2	9.1	25	6.1	281	7.2		
忙しくて忘れていた	32	33.0	20	14.7	15	0.6	7	1.2	5	2.0	1	4.5	4	1.0	84	2.2		
その他	12	12.4	12	8.8	91	3.8	37	6.3	14	5.6	4	18.2	83	20.2	253	6.5		
回答者数	97	—	136	—	2,381	—	590	—	252	—	22	—	410	—	3,888	—		

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。
2. 回答者数に対する割合である。

(4) 延滞が継続している理由と主な返還者の関係

- 主な返還者が奨学生本人の場合は「本人の低所得」を理由としている者が最も多い。主な返還者が連帯保証人(原則、父母のどちらか)、保証人(原則、四親等以内の親族)及び連帯保証人・保証人以外の父母の場合は「親の経済困難」を、配偶者の場合は「配偶者の経済困難」をあげる者が最も多い。

表4-4 延滞が継続している理由と主な返還者

(単位:人・%)

継続の理由	奨学生本人		連帯保証人		保証人		連帯保証人・保証人以外の父母		配偶者		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	148	6.2	51	7.3	18	8.0	16	5.1	5	7.1	13	13.5	251	6.6
本人が学生(留学を含む)	25	1.0	13	1.9	1	0.4	5	1.6	1	1.4	4	4.2	49	1.3
本人が失業中(無職)	448	18.7	182	26.0	48	21.2	66	21.0	22	31.4	33	34.4	799	21.0
本人の低所得	1,268	52.9	288	41.2	94	41.6	119	37.9	22	31.4	36	37.5	1,827	48.1
本人の借入金の返済	621	25.9	55	7.9	27	11.9	28	8.9	8	11.4	11	11.5	750	19.7
奨学金の延滞金額の増加	799	33.3	128	18.3	38	16.8	64	20.4	17	24.3	23	24.0	1,069	28.1
親の経済困難	565	23.6	467	66.8	136	60.2	200	63.7	14	20.0	39	40.6	1,421	37.4
配偶者の経済困難	124	5.2	26	3.7	8	3.5	10	3.2	27	38.6	3	3.1	198	5.2
家族の病気療養	161	6.7	52	7.4	16	7.1	38	12.1	3	4.3	7	7.3	277	7.3
忙しくて忘れていた	75	3.1	5	0.7	0	0.0	2	0.6	0	0.0	2	2.1	84	2.2
その他	163	6.8	31	4.4	19	8.4	22	7.0	8	11.4	9	9.4	252	6.6
回答者数	2,396	—	699	—	226	—	314	—	70	—	96	—	3,801	—

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

(5) 延滞が継続している理由と年収との関係

- 「0円」と回答した者の延滞理由は「本人が失業中(無職)」が最も多くなっている。「1円~100万円未満」、「100~200万円未満」及び「200~300万円未満」の者の理由は「本人の低所得」が最も多くなっているのに対して、「300~400万円未満」と「400万円~」の者の理由は「本人の借入金の返済」、「奨学金の延滞金額の増加」が多くなっている。

表4-5 延滞が継続している理由と年収

(単位:人・%)

継続の理由	0円		1円~100万円未満		100~200万円未満		200~300万円未満		300~400万円未満		400万円以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	129	16.8	64	6.7	35	3.5	23	3.4	5	1.8	2	1.5	258	6.7
本人が学生(留学を含む)	25	3.3	19	2.0	8	0.8	3	0.4	0	0.0	0	0.0	55	1.4
本人が失業中(無職)	480	62.7	248	25.9	75	7.4	19	2.8	3	1.1	0	0.0	825	21.5
本人の低所得	81	10.6	623	65.1	694	68.4	352	51.6	81	29.1	27	20.0	1,858	48.5
本人の借入金の返済	42	5.5	109	11.4	214	21.1	201	29.5	114	41.0	71	52.6	751	19.6
奨学金の延滞金額の増加	122	15.9	220	23.0	286	28.2	267	39.1	128	46.0	47	34.8	1,070	27.9
親の経済困難	322	42.0	327	34.2	401	39.5	257	37.7	98	35.3	37	27.4	1,442	37.6
配偶者の経済困難	78	10.2	55	5.7	26	2.6	23	3.4	10	3.6	5	3.7	197	5.1
家族の病気療養	49	6.4	64	6.7	77	7.6	46	6.7	19	6.8	19	14.1	274	7.2
忙しくて忘れていた	7	0.9	8	0.8	18	1.8	25	3.7	10	3.6	14	10.4	82	2.1
その他	55	7.2	34	3.6	58	5.7	46	6.7	27	9.7	18	13.3	238	6.2
回答者数	766	—	957	—	1,014	—	682	—	278	—	135	—	3,832	—

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

(6) 延滞が継続している理由と職業との関係

- 本人の職業が「正社員・正職員」、「派遣・臨時職員」、「アルバイト・パート等」及び「自営業・経営者」の場合、延滞理由は「本人の低所得」が最も多くなっている。
- また、本人の職業が「休職中(病気療養中を含む)」の場合は「本人が病気療養中」を、「失業中・無職」及び「専業主婦(夫)」の場合は「本人が失業中(無職)」を、「在学中(留学を含む)」の場合は「本人が学生(留学を含む)」をあげる者が最も多い。

表4-6 延滞が継続している理由と職業

(単位:人・%)

職業	正社員・正職員		派遣・臨時職員		アルバイト・パート等		自営業・経営者		休職中(病気療養中を含む)		失業中・無職		専業主婦(夫)		在学中(留学を含む)		その他		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
本人が病気療養中	19	1.8	12	2.3	27	2.8	5	3.4	108	63.9	70	10.7	11	4.7	0	0.0	6	8.6	258	6.7
本人が学生(留学を含む)	6	0.6	4	0.8	3	0.3	0	0.0	0	0.0	4	0.6	0	0.0	39	83.0	0	0.0	56	1.4
本人が失業中(無職)	17	1.6	26	5.0	60	6.1	3	2.0	53	31.4	552	84.7	111	47.0	4	8.5	10	14.3	836	21.6
本人の低所得	451	42.6	351	67.5	746	76.3	108	73.5	31	18.3	123	18.9	31	13.1	9	19.1	12	17.1	1,862	48.0
本人の借入金の返済	365	34.5	99	19.0	169	17.3	38	25.9	18	10.7	36	5.5	21	8.9	4	8.5	7	10.0	757	19.5
奨学金の延滞金額の増加	401	37.9	168	32.3	275	28.1	47	32.0	23	13.6	96	14.7	56	23.7	2	4.3	9	12.9	1,077	27.8
親の経済困難	413	39.0	215	41.3	361	36.9	45	30.6	59	34.9	234	35.9	78	33.1	15	31.9	38	54.3	1,458	37.6
配偶者の経済困難	28	2.6	21	4.0	42	4.3	6	4.1	8	4.7	23	3.5	67	28.4	2	4.3	2	2.9	199	5.1
家族の病気療養	89	8.4	40	7.7	75	7.7	8	5.4	12	7.1	35	5.4	15	6.4	3	6.4	5	7.1	282	7.3
忙しくて忘れていた	45	4.2	11	2.1	13	1.3	3	2.0	1	0.6	1	0.2	4	1.7	1	2.1	3	4.3	82	2.1
その他	88	8.3	24	4.6	44	4.5	8	5.4	8	4.7	32	4.9	31	13.1	0	0.0	19	27.1	254	6.5
回答者数	1,059	—	520	—	978	—	147	—	169	—	652	—	236	—	47	—	70	—	3,878	—

(注)1. 延滞が継続している理由は2つまで回答のため、合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

(7) 今後の返還の見通し(回答者数:3,890人)(択一)

- 今後の返還の見通しについては、「決められた月額等を返還したい」が29.0%、「決められた月額等より少ないが返還したい」と回答した者が64.2%となっている。年収別の回答の割合でみると、年収が多くなるにつれて、「決められた月額等を返還したい」と回答する者が多くなっている。

表4-7-1 今後の返還の見通し (単位:人・%)

区分	延滞者	
	人数	割合
決められた月額等を返還したい	1,127	29.0
決められた月額等より少ないが返還したい	2,499	64.2
わからない	264	6.8
計	3,890	100.0

表4-7-2 今後の返還の見通しと年収

(単位:人・%)

返還の見通し	0円		1円~100万未満		100~200万未満		200~300万未満		300~400万未満		400万以上		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
決められた月額等を返還したい	172	22.8	211	22.2	289	28.6	245	35.8	124	44.4	61	45.5	1,102	28.9
決められた月額等より少ないが返還したい	482	63.9	656	69.1	677	67.0	417	61.0	147	52.7	71	53.0	2,450	64.3
わからない	100	13.3	83	8.7	44	4.4	22	3.2	8	2.9	2	1.5	259	6.8
計	754	100.0	950	100.0	1,010	100.0	684	100.0	279	100.0	134	100.0	3,811	100.0

5. 返還期限の猶予制度について

(1) 猶予制度の認知状況(延滞者3,918人、無延滞者2,660人)(択一)

- 猶予制度に関しては、請求書を送付する都度、案内資料を同封する他、振替不能通知にも記載している。また、返還の手引きや返還説明会の説明事項にも含めている。
延滞者の38.5%、無延滞者の38.2%が「知っている」と回答しており、延滞者と無延滞者の間で差は見られなかった。

表5-1 猶予制度の認知度 (単位:人・%)

区分	延滞者		無延滞者	
	人数	割合	人数	割合
知っている	1,509	38.5	1,017	38.2
知らなかった	2,409	61.5	1,643	61.8
計	3,918	100.0	2,660	100.0

(2) 猶予制度の認知状況と年齢との関係

- 延滞者においては、「知っている」と回答する者について、24歳以下が29.9%であった他は、他の年齢層においては30%台後半～40%台前半と、年齢による差は小さかった。一方、無延滞者においては、年齢と共に「知っている」割合が上がっていく傾向がみられた。

表5-2-1 猶予制度の認知状況と年齢(延滞者) (単位:人・%)

年齢	知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～24	165	29.9	387	70.1	552	100.0
25～29	582	37.5	968	62.5	1,550	100.0
30～34	408	43.8	524	56.2	932	100.0
35～39	171	39.9	258	60.1	429	100.0
40～44	111	41.4	157	58.6	268	100.0
45～	61	38.4	98	61.6	159	100.0
計	1,498	38.5	2,392	61.5	3,890	100.0

表5-2-2 猶予制度の認知状況と年齢(無延滞者) (単位:人・%)

年齢	知っている		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
～24	294	32.7	606	67.3	900	100.0
25～29	321	32.7	662	67.3	983	100.0
30～34	73	45.1	89	54.9	162	100.0
35～39	235	51.2	224	48.8	459	100.0
40～44	67	63.8	38	36.2	105	100.0
45～	26	52.0	24	48.0	50	100.0
計	1,016	38.2	1,643	61.8	2,659	100.0

(3) 猶予制度の認知状況と年収との関係

表5-3-1 猶予制度の認知状況と年収(延滞者) (単位:人・%)

年齢	認知状況		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	290	38.0	474	62.0	764	100.0
1円～100万円未満	363	38.1	591	61.9	954	100.0
100～200万円未満	385	37.9	632	62.1	1,017	100.0
200～300万円未満	260	37.7	429	62.3	689	100.0
300～400万円未満	124	44.8	153	55.2	277	100.0
400万円以上	57	42.9	76	57.1	133	100.0
計	1,479	38.6	2,355	61.4	3,834	100.0

表5-3-2 猶予制度の認知状況と年収(無延滞者) (単位:人・%)

年齢	認知状況		知らなかった		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	80	44.2	101	55.8	181	100.0
1円～100万円未満	94	40.7	137	59.3	231	100.0
100～200万円未満	157	33.8	307	66.2	464	100.0
200～300万円未満	228	33.1	461	66.9	689	100.0
300～400万円未満	184	36.3	323	63.7	507	100.0
400万円以上	264	45.9	311	54.1	575	100.0
計	1,007	38.0	1,640	62.0	2,647	100.0

(4) 猶予制度の申請状況(延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問)(回答者数:1,457人)(択一)

- 延滞者で返還期限猶予制度を「知っている」と回答した者の猶予の申請状況は、「申請している」と「申請の準備または検討中」の合計が40.5%となっている。

表5-4 猶予制度の申請状況(延滞者) (単位:人・%)

区分	延滞者	
	人数	割合
申請している	247	17.0
申請の準備または検討中	342	23.5
申請できる月数(60ヶ月)に達してしまっただけ申請できない	314	21.6
猶予の基準に合わないので申請していない	226	15.5
その他	328	22.5
計	1,457	100.0

(5) 猶予制度の利用状況(無延滞者で猶予制度を「知っている」と回答した者に質問)

(回答者数:1,011人)(択一)

- 無延滞者で返還期限猶予制度を「知っている」と回答した者の猶予制度の利用状況は「利用したことがない」と回答した者が86.4%と高くなっている。

表5-5 猶予制度の利用状況(無延滞者) (単位:人・%)

区分	無延滞者	
	人数	割合
利用したことがある	123	12.2
利用したかったが基準に合わなかった	14	1.4
利用したことがない	874	86.4
計	1,011	100.0

6. 無延滞者のこれまでの返還状況(無延滞者のみに質問)

(1) 延滞経験の有無(回答者数:2,634件)(択一)

- 無延滞者において、今まで「延滞したことがない」が84.6%、「延滞したことがある」が15.4%となっている。

表6-1 延滞経験の有無 (単位:人・%)

区分	無延滞者	
	人数	割合
延滞したことがない	2,228	84.6
延滞したことがある	406	15.4
計	2,634	100.0

(2) 延滞になったことを知ったきっかけ(無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に質問)

(回答者数:378人)(複数選択)

- 延滞になったことを知ったきっかけは、「機構からの振替不能(延滞)通知」が72.2%、「機構からの電話」が35.4%であった。

表6-2 延滞になったことを知ったきっかけ(単位:人・%)

区分	無延滞者	
	人数	割合
機構からの振替不能(延滞)通知	273	72.2
機構からの電話	134	35.4
連帯保証人・保証人からの連絡	19	5.0
口座残高を確認して	78	20.6
親・家族等からの連絡	38	10.1
その他	23	6.1
回答者数	378	—

(注)1. 複数回答のため合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

(3) 延滞の解消方法(無延滞者で「延滞したことがある」と回答した者に質問)(回答者数:380人)(複数選択)

- どのように延滞を解消したかについては、「延滞額を支払った」が86.3%であった。

表6-3 延滞の解消方法 (単位:人・%)

区分	無延滞者	
	人数	割合
延滞額を支払った	328	86.3
猶予願が承認された	25	6.6
その他	35	9.2
回答者数	380	—

(注)1. 複数回答のため合計は100%にならない。

2. 回答者数に対する割合である。

7. 無延滞者の意識調査(無延滞者のみに質問)

(1) 「減額返還制度」の利用希望について(回答者数:2,596人)(択一)

- 「減額返還制度」の利用希望については、「ぜひ利用したい」(6.5%)、「場合によっては利用したい」(41.1%)の合計が47.6%で「できれば利用したくない」、「利用しない」の合計52.3%を下回っている。

表7-1 減額返還制度の利用希望 (単位:人・%)

区分	無延滞者	
	人数	割合
ぜひ利用したい	170	6.5
場合によっては利用したい	1,068	41.1
できれば利用したくない	456	17.6
利用しない	902	34.7
計	2,596	100.0

(2) 日本学生支援機構の奨学金に対する意識

- 奨学金に対する意識について質問したところ、それぞれの問いで最も割合が高かった回答は次の通りであった。

- ・返還負担度(現在、奨学金の返還が負担になっている) …「そう思う」26.4%
- ・返還義務度(借りたものなので必ず返さなければならない) …「とてもそう思う」65.7%
- ・回収強化度(回収は強化するべきである) …「どちらともいえない」33.8%
- ・督促のきびしさ度(延滞への対応がきびしい) …「どちらともいえない」44.9%

表7-2-1 日本学生支援機構に対する意識

(単位:人・%)

区分	返還負担度		返還義務度		回収強化度		督促のきびしさ度	
	現在、奨学金の返還が負担になっている		借りたものなので必ず返さなければならない		回収は強化するべきである		延滞への対応がきびしい	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
とてもそう思う	407	15.4	1,740	65.7	748	28.3	67	2.6
そう思う	699	26.4	844	31.9	813	30.7	120	4.6
どちらともいえない	624	23.6	50	1.9	894	33.8	1,169	44.9
そう思わない	676	25.5	7	0.3	141	5.3	770	29.6
まったくそう思わない	243	9.2	8	0.3	49	1.9	479	18.4
計	2,649	100.0	2,649	100.0	2,645	100.0	2,605	100.0

表7-2-2 年収別返還負担度(現在、奨学金の返還が負担になっている)

(単位:人・%)

年収	返還負担度		とてもそう思う		そう思う		どちらともいえない		そう思わない		まったくそう思わない		計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
0円	43	24.4	47	26.7	46	26.1	30	17.0	10	5.7	176	100.0		
1円~100万円未満	60	26.0	76	32.9	49	21.2	41	17.7	5	2.2	231	100.0		
100~200万円未満	102	22.1	140	30.3	108	23.4	85	18.4	27	5.8	462	100.0		
200~300万円未満	110	16.1	180	26.4	163	23.9	176	25.8	54	7.9	683	100.0		
300~400万円未満	49	9.6	136	26.8	128	25.2	150	29.5	45	8.9	508	100.0		
400万円以上	38	6.6	119	20.6	129	22.4	190	32.9	101	17.5	577	100.0		
計	402	15.2	698	26.5	623	23.6	672	25.5	242	9.2	2,637	100.0		